

バーチャルリアリティのソフトウェア技術サービスで 社会の安心安全に貢献する

創業以来、ソフトウェアパッケージ開発技術を基盤として、土木・建築設計を支援する独創的かつ先進的なソフトウェア・システム開発・技術サービスを提供。なかでも、2000年リリースの3次元バーチャルリアリティソフトUC-win/Roadは、広くプロジェクト全体や交通・自動車研究、情報システム全般で活用されている。安全安心に関わる技術は、社会的な要請がさらに高まり、ソフトウェア開発とそのサービス技術により、社会に安全安心をもたらすことを使命に活動している。

所在地 東京都港区港南2-15-1
品川インターシティA棟21F
電話/FAX 03-6894-1888 / 03-6894-3888
URL <https://www.forum8.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 伊藤 裕二

設立 1987年
資本金 5,000万円
従業員数 288名



バーチャルリアリティ空間での多彩なシミュレーションで社会のデジタル化を推進

3次元バーチャルリアリティ（VR）ソフトウェア UC-win/Road は、道路事業・公共事業におけるシミュレーションに強みを持つ。地図・地形情報やさまざまなデータを連携し、景観・日照、交通・運転、気象・災害などの多様なリアルタイムで高度なシミュレーションを実現する。この3次元VRの情報は、さまざまな用途での展開が可能となる。都市計画、交通・運輸、防災、環境、医療、教育、製造業など、あらゆる分野のデータベースで結びつけることで、研究、教育や社会のデジタル化を強力に推進している。



UC-win/Roadによる3DVRシミュレーション

自治体へのVRプラットフォーム活用提案による地方創生・強靱化支援

VRプラットフォームの活用で、地方ひいては全国の復興を支援する。自治体のまちづくりセミナー・イベントの主催を通し、各地の自治体に働きかけ、VRの活用提案を積極的に行っている。なかでも、地域活性化への貢献を目的とした「地方創生・国土強靱化セミナーフェア」は、秋田をはじめとした自治体と連携し、2019年より全国で開催。内閣府地方創生推進事務局や国土交通省から現場の専門家を招き講演を行っている。2020年はコロナウイルス感染症対策としてオンラインにてセミナーフェアを開催している。



自治体でのVRプラットフォーム活用

シミュレーションコンテストによるユーザーとの連携促進と利用拡大

UC-win/RoadによるVRデータ作品が出品される3D・VRシミュレーションコンテストを毎年開催（2020年11月で第19回）。近年では土木・建設分野に加え、自動運転研究、工作機械の商品説明、歴史的建造物の記録保存、災害時の避難シミュレーションなど、独創的な活用例が幅広いユーザーから集まり、ソフト面での機能が拡張している。また、さまざまな産業分野で利用できるVRプラットフォーム整備を推進するVR推進協議会の設立支援や、大学・自治体との連携など、利用、普及に力を入れている。



シミュレーションコンテスト